

各部の名称と機能



電源の入れかた

【電源/音量】ツマミを時計方向に回します。
 ※照明は、約5秒後に自動で消灯します。
 ※反時計方向に回すと、電源が切れます。



【自局番号表示】個別呼び出し機能が設定されているとき、表示されます。



このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
 本書は、本製品の基本操作を説明しています。
 本書をお読みいただく前に、別紙の「ご注意と保守について」をよくお読みいただき、本製品を安全にご使用ください。

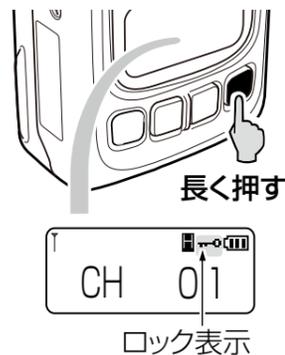
誤操作を防ぐには(ロック機能)

「ピピッ」と鳴るまで、【機能/ON】スイッチを長く押します。

【ロックの解除】もう一度、【機能/ON】スイッチを長く押します。

【ロックされない操作】

- ◎ロック機能の解除
 - ◎送信/受信
 - ◎モニター機能の「ON」/「OFF」
 - ◎電源の「入」/「切」
- ※音量調整をロックされない操作に変更するには、お買い上げの販売店で設定が必要です。

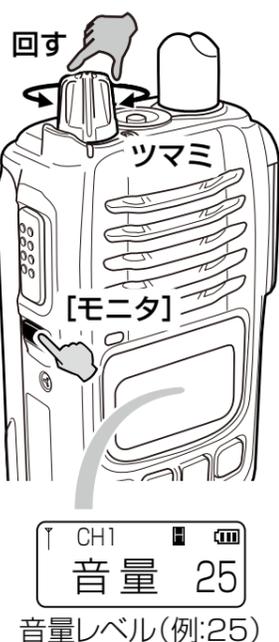


音量調整のしかた

電波を受信中に、【電源/音量】ツマミを回します。
 ・調整範囲：0～32

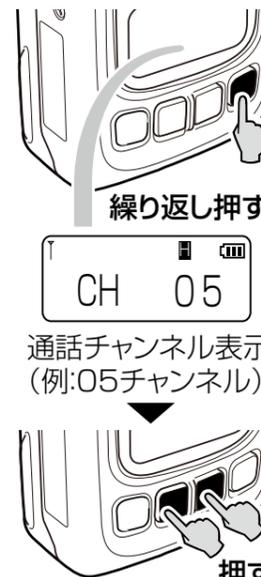
【音を確認するには】待ち受け中に音量を調整するときは、【モニタ】スイッチを押しながら、「ザー」という音を聞いて調整します。

※「ザー」と音が出ない場合は、モニター機能が設定されていません。
 モニター機能の設定は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



通話チャンネルを切り替えるには

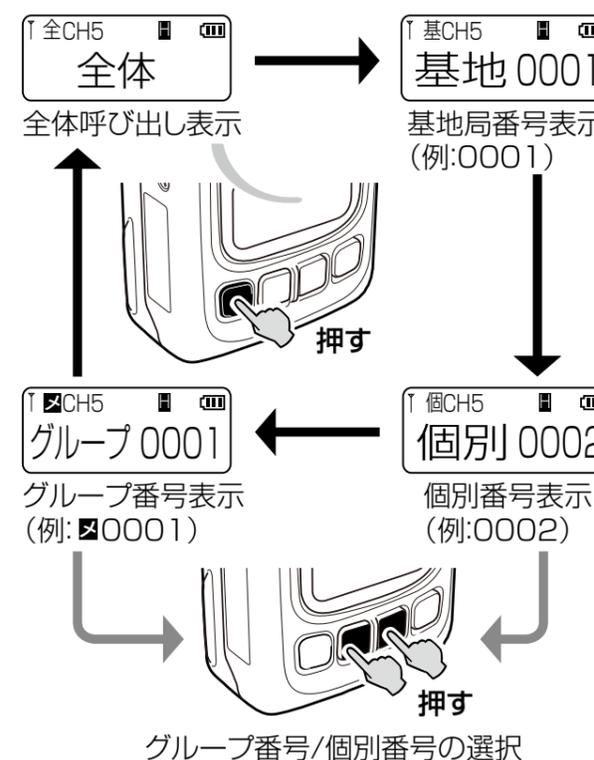
- ①通話チャンネルが表示されていないときは、【機能/ON】スイッチを繰り返し押します。
- ②【▼】/【▲】スイッチを押して、相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。
 ※相手がアナログモードの場合は、Aが表示される通話チャンネル番号から選択してください。



※個別呼び出し機能が「ON」の場合、下記の「全体/基地/個別/グループ番号の選択」を選択してから、呼び出し(裏面の操作)をします。

全体/基地/個別/グループ番号の選択(デジタルモードの場合)

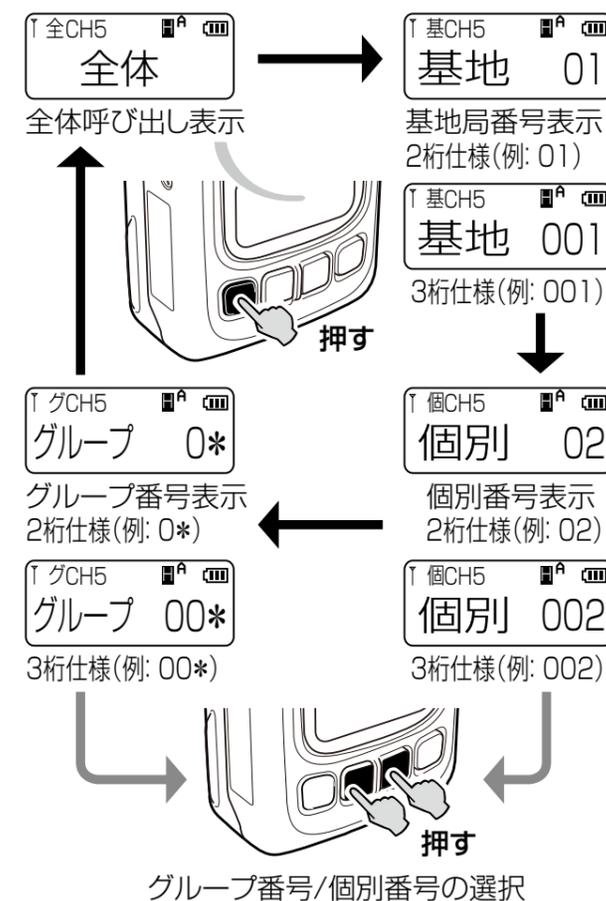
- ①【全/基】スイッチを繰り返し押して、呼び出しかたを選択します。
- ②相手の個別番号、または所属するグループ番号の選択は、【▼】/【▲】を押します。



全体/基地/個別/グループ番号の選択(アナログモードの場合)

表示される各番号は、桁数(2桁仕様/3桁仕様)によって異なります。

- ①【全/基】スイッチを繰り返し押して、呼び出しかたを選択します。
- ②相手の個別番号、または所属するグループ番号の選択は、【▼】/【▲】を押します。



ご参考

【個別呼び出しの種類】

- 全体 : 一斉に全局を呼び出す。
- 基地 : 基地局を呼び出す。
- 個別 : 選択した番号の1局を呼び出す。
- グループ : グループに所属する局を一斉に呼び出す。

※全体/基地/個別/グループ番号の選択(個別呼び出し機能の使用)は、お買い上げの販売店で設定が必要です。

※モードが異なる相手との通話はできません。
 相手がデジタルモードの場合は、A(アナログ)が表示されない通話チャンネル番号から選択してください。

呼び出しをする(送信する)

他局が通信(ランプが緑色に点灯)していないことを確認後、**[PTT]**(送信)スイッチを押しながら、マイクに向かって呼びかけます。

※**[PTT]**(送信)スイッチをはなすと、待ち受け状態になります。



デジタルモードを例に説明していますが、アナログモードの通話チャンネル選択時も呼び出し操作は同じです。

■ 個別呼び出し機能：「OFF」の場合

通話チャンネル番号を選択後、送信します。

※全体/基地/個別/グループ番号の選択は、できません。

■ 個別呼び出し機能：「ON」の場合

1. 相手と同じ通話チャンネル番号に合わせます。
2. 呼び出す相手(全体/基地/個別/グループ番号)を選択後、送信します。

【相手局から応答がないときは】

個別呼び出し後、表示が点滅に戻ってから、再度、**[PTT]**(送信)スイッチを押すと、繰り返し呼び出しできます。



【相手局が通信圏内かどうかを確認するには】

個別/基地局呼び出しの相手局番号を選択した状態で、**[PTT]**(送信)スイッチを短く押します。

※相手局が通話圏内にある場合、「ピッ」と鳴り、ランプが1回点滅(緑色)します。

通話圏外など、相手に電波が届かない場合は、終話して、操作前の表示に戻ります。



呼び出しを受ける(受信する) (デジタルモードの場合)

信号を受信すると、ランプが緑色に点灯します。

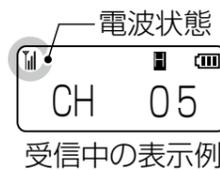
【応答するときは】

待ち受け状態(ランプ：消灯)になってから、**[PTT]**(送信)スイッチを押します。



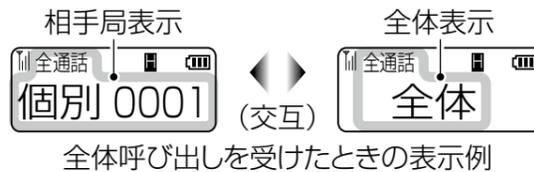
■ 個別呼び出し機能：「OFF」の場合

選択している通話チャンネル番号の電波を受信すると、右図の表示になります。



■ 個別呼び出し機能：「ON」の場合

◎全体呼び出しを受けると、相手局番号(例：0001)と全体が交互に表示されます。



◎個別呼び出しを受けて着信すると、相手局番号(例：0002)が点滅します。

※相手が基地局の場合は、基地局番号(例：0001)を意味します。



◎グループ呼び出しを受けて着信すると、相手局番号(例：0002)とグループ番号(例：0001)が交互に表示されます。



呼び出しを受ける(受信する) (アナログモードの場合)

信号を受信すると、ランプが緑色に点灯します。

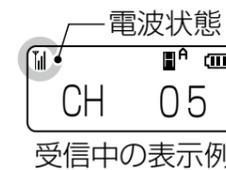
【応答するときは】

待ち受け状態(ランプ：消灯)になってから、**[PTT]**(送信)スイッチを押します。



■ 個別呼び出し機能：「OFF」の場合

選択している通話チャンネル番号の電波を受信すると、右図の表示になります。



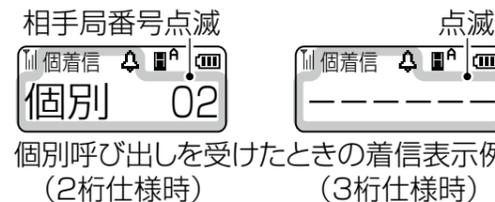
■ 個別呼び出し機能：「ON」の場合

◎全体呼び出しを受けると、右図の表示になります。



◎2桁仕様の場合、個別呼び出しを受けて着信すると、相手局番号(例：02)が点滅します。
※相手が基地局の場合は、基地局番号を意味します。

※3桁仕様は、相手局番号が表示されません。



◎グループ呼び出しを受けて着信すると、グループ番号(例：0*、00*)が表示されます。



セットモードによる機能設定

下記の設定項目を無線機本体から変更できます。
※あらかじめ、販売店で設定されている場合、下記と設定項目が異なる場合があります。

◎Pベル

個別呼び出しを受けて着信すると、応答するまで相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※設定されているときは、「P」が表示されます。

◎スケルチ

相手局の信号レベルの強弱に応じて、スケルチが開くレベルを設定します。

※アナログモードと混在モードで表示されます。

◎マイクゲイン

マイク感度の設定です。

◎発着信履歴消去

個別呼び出し機能で呼び出し、または呼び出しを受けたときの発着信履歴を消去します。

■ 「セットモード」に移行するには

1. 無線機の電源を切ります。
2. **[機能/電源]**スイッチを押しながら、**[電源/音量]**ツマミを回して、電源を入れます。

3. **[MODE CHG]**と表示されたら、すべてのスイッチから手をはなして、起動コメント(例：IC-DU65C)が表示されるまでに、**[機能/電源]**スイッチを短く押します。

・「ピピッ」と鳴って、「SET」を表示したあと、設定項目が表示されると、セットモードに移行しています。



詳細な説明や設定方法について

弊社ホームページに掲載されている取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。
アイコム株式会社 <http://www.icom.co.jp/>